

みなとぴあボランティアレター 第50[☆]号 anniversary

新潟市歴史博物館 みなとぴあ/2023.7

ついに50号となりました！今回は特別号も作成しましたのでご覧ください。

4/22 ボランティア総会

4月22日（土）にボランティア総会を行いました。今回は38名の方にご参加いただき、多くのボランティアのみなさんが集う、久しぶりの機会とあって、和気藹々とした雰囲気での会が始まりました。

最初に今年度新規加入ボランティアのみなさんに自己紹介をしていただきました。加えて、前年度、新型コロナウイルスの影響でご紹介の機会を設けられずにいた前年度加入のボランティアの皆さんにも自己紹介をしていただきました。今年度加入のみなさんからは、これからの活動に向けたお気持ちをお話しいただき、前年度加入のみなさんからは、この1年の活動を経たご所感などをお話しいただきました。

続いて、前年度の活動の振り返りをしました。写真で活動を振り返り、当日のことを思い出し、会場からは笑い声も…！新型コロナウイルスの影響で中止となったイベントもありましたが、ボランティア同士で協力し合い、楽しく活動ができたことを実感しました。また、活動日誌に記入いただいた活動の感想もいくつか紹介し、ここからも充実した活動ができていたことがわかりました。最後に、今年度の活動予定を報告し、各イベントの準備メンバーを発表しました。今年度も多くの方にイベントの準備をお手伝いいただきますが、どうぞよろしくお願いいたします。



5/13 マナー研修

5月13日（土）にマナー研修を行いました。この研修は、博物館における接客等のマナーを改めて確認し、ボランティアで共有したいとの声から実現したものです。企画普及課の高桑総務担当次長が講師となり、20名のボランティアが研修を受けました。参加者からは、「服装について意識していなかったが、今後は意識したい」「マナーを理解しているようで理解していない部分があった」といった声を聞くことができました。

研修後は、新型コロナウイルスの影響で約3年間休止していた当日ガイドを同日より再開することに伴い、実施方法の確認を行いました。当日ガイドの魅力は、来館者個人と密にコミュニケーションがとれるところです。来館者と近い距離間での対応が求められますので、是非マナー研修の内容を参考にいただければと思います。



6/10 市内施設見学 in 西蒲区

6月10日（土）、市内施設見学を開催しました。このイベントは、市内の歴史・文化の魅力をを知るために新潟市内の博物館・資料館を訪ねるもので、今年で2回目の開催となります。今回は、新潟市を構成している区のうち、最も博物館・資料館の数が多き西蒲区で、岩室民俗史料館、巻郷土資料館、潟東歴史民俗資料館の3館を訪ねました。

最初に訪れたのは、岩室民俗史料館です。ここは、平成27(2015)年に開館し、岩室民俗史料館友の会により運営されています。当日は岩室民俗史料館友の会の方々にお集まりいただき、展示や体験の内容を解説していただきました。まず入館して驚いたのは、展示されている民具の量です。館内には、岩室地域で収集された生活用具や農具などが1,500点以上展示・保管されているそうで、みなとぴあでは見ることのできない珍しい民具も数多くありました。このほか、間瀬大工が使用していた道具なども展示されており、参加者たちは興味深く見学していました。また、布草履づくりや糸紡ぎ、機織りといった岩室民俗史料館で行われている体験の実践もしていただきました。友の会の方々の方が器用に体験をしている姿をみて、みなとぴあでのたいけんプログラムや自主活動のヒントを得ていた方もいらっしゃいました。

次に巻郷土資料館を訪れました。ここは、巻地区の生活用具や農具などを収集し展示しており、中でものぞきからくりを所蔵していることで有名です。のぞきからくりを所蔵する館は全国的にも少なく、このうち実際に上演できるのは巻郷土資料館だけだそうです。当日は、特別に口上師の鈴木さんにお越しいただき、鈴木さんの口上とともにのぞきからくりを見学しました。鈴木さんの心地よい口上で物語が展開していき、参加者はのぞき穴を順番に除きながら見学しました。上演後には、鈴木さんに数多くの質問が…。参加者はのぞきからくりや口上に興味津々でした。その後は、巻地区でかつて行われていた毒消し売りに関する資料も見学しました。

最後に潟東歴史民俗資料館を訪れました。ここは、潟東地区の生活用具や農具、また鎧潟周辺で使用されていた漁具などを収集し展示しています。当日は、職員の方にご案内いただき、常設展及び企画展「筒描展」を見学しました。常設展では、潟東地区周辺の遺跡についてご案内いただき、特に埴輪についての話で盛り上がりました。また、敷地内にある潟東樋口記念美術館も見学し、潟東地区の芸術文化についても学ぶことができました。

3つの施設を見学し、西蒲区についての歴史・文化を改めて学び、その魅力を感じることができたと思います。



岩室民俗史料館で体験活動を見学



巻郷土資料館でのぞきからくりを見学



口上師の鈴木さんと記念写真！



潟東歴史民俗資料館で
西蒲区を空中写真からみる

7/15 塔屋見学会 & 敷地スタンプラリー

7月15日（土）に塔屋見学会と敷地スタンプラリーを開催しました。天気予報では、雨ということで心配していましたが、幸いにも当日は曇りで雨は降りませんでした。今回は、18名のボランティアが参加しました。

塔屋見学会では、今回から新型コロナウイルス対策が緩和され、塔屋に上がることのできる人数も多くなりました。10分ごとに6人ずつ塔屋に上がってもらい、ボランティアの説明を聞いていただきました。中には、台湾やオランダといった外国から来た方も…。外国語でのガイドが得意な方に対応していただき、税関の歴史等を知ってもらうことができました。小さいお子さんは、急な階段を一生懸命上り下りしていました。その姿をみたボランティアからは、「頑張れ!」「もう少し」などと応援する声も出ていました。

敷地スタンプラリーは、旧新潟税関庁舎、第四銀行住吉町支店、博物館本館の3か所を巡るもので、それぞれの場所でボランティアの解説を聞いたらスタンプがゲットできます。こちら幅広い年代の方にご参加いただき、参加者たちは真剣にボランティアのガイドを聞いていました。それぞれの場所で待機するボランティア同士で会話する姿もうかがえ、ボランティア同士が仲良くなる機会にもなったのではと思います。今回はスタンプをすべて集めた方には、スタンプラリーで巡る建物をイメージしてつくったオリジナルステッカーを差し上げました。評判がよかったので、今後は新たなデザインのものを作っていきたいと思います。

2時間という少ない時間でしたが、塔屋見学会は66人、敷地スタンプラリーは35人の方にご参加いただきました。本当におつかれさまでした。



多くのお子さんがスタンプラリーに参加してくれました！



台湾の方にガイド！



初めての塔屋ガイドにチャレンジする方も！

7/23 暑気払い

7月23日（日）に旧第四銀行住吉町支店の1階で暑気払いを開催しました。しばらくの間、新型コロナウイルス感染拡大の観点から中止してきましたが、今回新型コロナウイルス対策をしながら、約3年ぶりに開催しました。

職員も合わせて29名の方にご参加いただき、今回は前館長である伊東祐之さんにもご参加いただきました。最初に坂井館長から開会のご挨拶があり、その後乾杯をしました。例年通り、くじ引きで席を決定し、同じ席になった方と楽しそうに過ごされていました。また、お酒をはじめ、お弁当やお菓子、枝豆をおいしくいただきました。お弁当の中には、土用の丑の日が近いこともあり、うなぎが…。どの料理もおいしくいただきました。また、前館長である伊東さんにボランティアを代表して山崎雄さんがお礼の言葉を伝えました。講座をはじめ、様々な場面で歴史のおもしろさを伝えてくださった伊東さんに感謝の気持ちを伝えていました。

後半には、なんとボランティアの松田さんによるギター生演奏の時間がありました。20曲ほどのレパートリーをご用意いただき、様々な楽曲などを披露していただきました。最後には、大森学芸担当次長とボランティアの荒木さんが松田さんのギター演奏に合わせて歌う場面もありました。その後、久しぶりの暑気払いということも

あり、ボランティア一人ひとりに自己紹介をしていただきました。それぞれ、ボランティア活動を始めた経緯や今後の抱負などをお話いただき、みなさんからは来年の開館 20 周年事業に向けて、みなとびあを盛り上げていこうという意気込みを感じました。また、ボランティア活動への情熱もうかがうことができ、今後の活動がさらに楽しみになりました。

最後は、ボランティアを代表して渡辺博さんに今後の意気込みをお話いただき、お開きとなりました。今回ははじめて暑気払いに参加された方も多く、ボランティア同士の顔合わせという意味でも重要な場であったと思います。今から新年会が楽しみです！



鎌田さんの司会でスタート！



山崎雄さんから
伊東前館長へのお礼の言葉



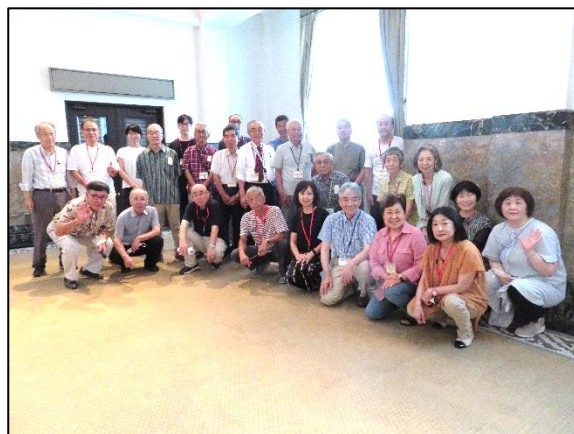
お酒も料理もおいしくいただきました！



松田さんのリサイタル♪



渡辺博さんの閉会の言葉



参加者で集合写真！

【編集後記】

2004年にみなとびあボランティアが始動してから早19年…。ボランティアレターもついに50号になりました！1年に3回作成していますが、みなさんのご活躍を記録し伝える良い広報媒体にもなっています。改めて、日頃から活動にご参加いただき、ありがとうございます。50号を記念し、これとは別に「特別号」も作成しました。是非ご覧ください。

さて、今回は4～7月の活動をまとめました。ボランティア総会をはじめ、はじめてマナー研修を実施したり、約4年ぶりに暑気払いを開催したり様々なことを実施しました。どれも良い思い出です。ご協力いただいた準備メンバーのみなさま、ありがとうございました！（鈴木）

2023.6月現在

みなとびあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の街をみんなで盛り上げていこう！という事業です。

「みなとびあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体のみなさんからご協賛をいただいています。



(順不同)